

会報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5948 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: http://www.akashi-bouka.jp/

平成26年明石市消防出初式

一月十二日(日)午前九時四十五分
から市役所周辺で明石市消防出初式
が挙行されました。
消防署・消防団の車両五十七台を
先頭に、消防吏員、消防団員、自衛消
防隊員、婦人防火クラブ員、子ども消
防隊員九百三十名が入場行進しまし
た。
この日、厳しい寒さではありまし
たが、好天にも恵まれ、参加してい
ただいた六十二名の工場部会の自衛消
防隊員は、行進曲が会場に響き渡る
と、たちまち意気揚々とし、活気に満
ちた態勢となって元氣よく堂々と観
覧位置へと行進して行きました。
今年、自治体消防六十五周年を
記念して、その後、市民会館で、行
われた式典も最初に「明石消防のあゆ
み」をスライドショーで紹介し、表彰



授与式、市長式辞、消防長誓いのこと
ば、来賓祝辞、消防団長挨拶、万歳三
唱と続き、式典は終了しました。
また式典と並行して市民会館西側
駐車場の二階において、アトラク
ションが催されました。
例年どおり、消防車の試乗・放水体
験・救助体験・写真撮影コーナー等の各
ブースの他に今年、当協会で購入
した濃煙体験テントを使いコーナ
ーを設け、親子連れの方を中心にたく
さんの方がこられ、大盛況でした。
最後に駐車場二階・市役所本庁舎
北側において消防救助隊による演技、
消防署・消防団による放水演習が行
われました。
毎年、恒例の一斉放水が実施され、
消防団の各分団からの代表班が日
頃の成果として可搬式ポンプを使



- 〔表彰事業所は次のとおりです〕
- 〔防火管理優良事業所〕
 - ・医療法人財団 光明会明石病院
 - ・株式会社三井住友銀行明石支店
 - ・三菱重工株式会社
 - 神戸造船所二見工場
 - 〔危険物保安管理優良事業所〕
 - ・有限会社石原産業

い駐車場から市役所屋上に向けら
れて一斉放水が行われ、会場内で見
学されている方々から拍手喝采を
浴びました。
なお、式典では防火対象物及び危
険物施設の火災予防・保安管理に多
大な成果を挙げた事業所並びに永年
にわたり火災予防に尽力し、その功
労が顕著な事業所が表彰されました。

平成25年 火災・救急の統計

平成25年中における明石市内で発生した火災・救急の概要がまとまりました。平成25年中の火災件数は78件、死者2名、負傷者6名となりました。

火災の概要

●前年度の比較(件数)

区分	平成25年	平成24年
建物	33	49
林野	0	0
車両	11	11
船舶	1	0
その他	33	25
合計	78	85

●出火原因(件数)

区分	平成25年	平成24年
放火・放火の疑い	26	19
たばこ	3	7
こんろ等	6	8
たき火・焼却炉	4	
火遊び	5	7
電気関係	8	5
マッチ・ライター		3
ストーブ		6
その他	11	24
不明	6	6
調査中	9	
合計	78	85

救急の概要

●前年度の比較(出動件数)

区分	平成25年	平成24年
急病	7,792	7,184
一般負傷	1,848	1,771
交通事故	1,188	1,216
自損行為	138	152
加害	92	89
労災	75	69
火災	40	54
運動競技	51	44
水難	13	19
自然災害	1	2
転院搬送	1,212	1,047
医師搬送	1	1
その他	273	318
合計	12,724	11,966

火災件数は前年の85件から7件減少しました。これは、5日に1件の割合で火災が発生したことになります。また、8年連続で90件を下回り、過去10年の件数の平均も100件を下回りました。火災による死者数は、2名で前年の0名から2名増加し、負傷者は6名で前年の13名から7名減少しました。出火原因で一番多いのは「放火・放火の疑い」を合わせて26件、次に「電気関係」の8件、「こんろ等」の6件となりました。原因別件数を見ると「放火・放火の疑い」が前年より7件増加していることから今後、警察や地域の方々と連携して「放火されにくい町づくり」を作っていく必要があります。また、「電気関係」、「こんろ等」についても上位を占めていることから「こんろ」については、行為者の防火意識が向上するだけで防ぐことができるため防火指導の際に注意点の広報を強化すると更なる火災件数の減少が望めます。「火災の少ない安全・安心なまち明石」を目指し、火災によって悲しむ方が一人でも減るように火災予防活動を行っていきたく考えております。救急出動件数は、12,724件で前年より758件増加しました。事故種別で一番多いのは、急病7,792件、次に一般負傷1,848件、転院搬送1,212件となっています。

平成二十六年 春季火災予防運動

春季全国火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として毎年、消防記念日を最終とする一週間に実施しています。

防火標語 「消すまでは 心の警報」

実施期間 平成二十六年 三月一日(土)～三月七日(金)

実施要領

- 〔重点目標〕
- 住宅防火対策の推進
 - 放火・放火の疑い等の徹底
 - 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - 多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底
 - 林野火災予防対策の推進
- 〔推進項目〕
- ①住宅防火対策の推進
 - ア 住宅用火災警報器の設置徹底及び適切な維持管理の周知
 - イ 住宅用消火器をはじめとした住宅用防災機器等の普及促進
 - ウ たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
 - エ 防災用品の普及促進
 - オ 消防団、婦人防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
 - カ 地域の実情に即した広報の推進と具体的対策事例等の情報提供
 - キ 高齢者等の災害時要援護者の把握とその安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進
 - ク 放火・連続放火火災防止対策の推進
 - ク ア 「放火火災対策防止戦略プラン」を活用した放火火災に対する地域の対応力の向上
 - ク イ パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底

編集雑感(後記)

今年、冬季オリンピックに続いてFIFAワールドカップが6月に開催されます。また、2020年開催の東京オリンピックに向けて国民のスポーツに対する関心が高まっています。さて、今年の冬は、雪も多く寒い冬でしたが、ここきてさすがに寒さの中にも春めいた気配が感じられるようになってきました。特に日差しの強さが感じられるようになってきました。メリハリが効きすぎる季節の移り変わりも温暖化の影響でしょうか。

- ③特定防火対象物における防火安全対策の徹底
 - ウ 放火火災・連続放火火災による被害の軽減対策の徹底
 - イ 防火管理体制の充実
 - イ ア 避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底
 - イ イ 防災用品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
 - イ エ 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底
 - イ オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
 - イ カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
 - イ キ 表示制度及び公表制度の取組の推進
 - イ ク 高齢者や障がい者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
- ④製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - イ 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底
 - イ ア 多数の観客等が参加する行事に対する火災予防指導等の徹底
 - イ ア ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - イ イ 火気器具を使用する屋台等への指導
 - イ ア 林野火災予防対策の推進
 - イ ア 林野周辺住民、入山者等の防火意識の高揚
 - イ イ 火災警報発令中における火の使用制限の徹底
 - イ エ 火入れに際しての手続き等の徹底
 - イ エ 林野所有者等に対する林野火災予防措置の指導の強化

平成25年度 防火ポスター展



金ヶ崎北保育園 年長 竹内 陸人



魚住小学校 1年 平野 優



望海中学校 1年 栗脇 悟郎



防火協会の恒例の主催行事として火災予防運動啓発用防火ポスターの募集を呼びかけたところ、市内の園児から中学生まで六百八十五名の応募がありました。審査は、九月二十六日(木)に行われ、小谷・田中両副会長ほか六名の審査員により左記の方々が明石市長賞等ほかの特別賞に選出されました。



錦が丘小学校 5年 四宮 妃望



望海中学校 2年 長谷川 千紘



大久保北中学校 2年 稲山 憂依乃



播磨科学公園都市に建設された当施設は、蓄積電子エネルギー八十億電子ボルトという世界最高性能を発揮する放射光大型研究施設であり、二十一世紀を担う最先端の研究が行われています。主たる研究分野は、材料・科学・地球科学・環境科学など広範囲に及び、二十一世紀の科学技術の基礎を築く、まさに現代科学の粋を結集した施設でした。



工場部会と危険物部会の合同による視察研修が平成二十五年十一月十九日(火)に実施されました。朝比奈危険物部会長・森岡工場副部長以下二十七名の部会員の方が公務多忙の中、参加されました。今回の視察研修先は佐用郡佐用町にあるspring8です。

工場・危険物部会合同視察研修

の設備や技術、行われている研究や施設が担う役割について知ることができました。また、放射光や施設の基礎から応用まで幅広く学べ、放射光の利用や将来について興味を持って大変有意義な視察研修となりました。

出初を写そう!! 写真コンテスト



角田 進



山口 明



中島 奉文



武田 治



藤原康次郎



作品の展示

期間:平成26年2月20日~2月27日まで
場所:明石市役所2階ロビー

明石特防・旅館ホテル部会合同視察研修

特防部会と旅館ホテル部会の合同による視察研修が平成二十六年二月四日(火)に実施されました。この日は立春で肌寒い日ではありましたが、成田特防部会長、津田・旅館ホテル副会長以下十名の部会員の方が公務多忙の中、参加されました。今回の視察研修先は、三田市にある「株式会社モリタ 三田工場」を見学させていただきました。工場内では、ちょうど消防機関への注文車両の納車時期ということで多忙にもかかわらず、担当の方が詳しく説明しながら工場を案内していただきました。当工場では、生産中のポンプ車・タンク車やオーバールの中はしご車などが並び従業員の方々がすべて手作業で仕事をこなしていました。こちらの工場では、全国の消防車両のシェアが五十%を超えており、まさに業界をリードするトップ企業です。当事業所のスローガンが「人と地球の命を守る」ということで年間七百台以上の消防車両が生産され、海外にも輸出されており、参加された事業所の方々からは、身近に最新鋭の消防車の組立作業現場を視察することができ、大変よかったですという感想が聞かれました。

